

湯本駅周辺のまちづくりに関する市民説明会 議事要旨

■ 日時

令和8年7月1日（水）15:00～16:45

■ 場所

常磐公民館 第2会議室

■ 次第

I. 開会

II. 出席者紹介

III. 挨拶（いわき市 都市建設部 都市計画課長）

IV. 基本計画の概要及び事業の進捗状況について

資料Ⅰ

1. 基本計画の概要

2. 湯本駅周辺土地地区画整理事業

3. （仮称）常磐地区交流拠点施設整備事業

4. 御幸山公園・湯本駅前緑地整備事業

5. まちなみ景観づくりの取組み

6. コンテンツ創造に向けた取組み

7. 事業全体のスケジュール

V. 福島県における都市計画道路白鳥藤原線（県道常磐勿来線・いわき石川線）の整備について

資料2

VI. 質疑応答

VII. 閉会

■ 質疑応答の概要（要旨） ○：参加者 ⇒：事務局

- 吹谷地区は雨が降ると御幸山と湯本一中からの流れてくる水が郵便局の前を通過して県道へ流れる。そこから、県道を横切って寿苑さんの脇を通過して裏を抜けて、ポンプ場の脇を通過して湯本川に入る。

雨水管について市へ要望すると、県道なので県へ話をしてほしいと言われ、県へ伝えると道路は止めることができないと言われてしまい、いまだかつて対応してもらったことはない。今回の事業で、埋設管の工事を行うということなので、雨水管についても併せてどうにかならないのか。

- ⇒ 新しく道路を整備するにあたっては周辺で降った雨を適切に処理できるような排水施設を設ける予定である。また、県道に埋設されている雨水管の流末は、市道に埋設されている雨水管へ流れるため、整備にあたっては市と協議を行い、整合のとれるものとしたい。（県）

- 湯本駅前の市営駐車場がなくなると、送り迎えで利用できなくなってしまう、困る。品川駐車場からだと歩く距離が長くなり、高齢者としても不便になる。

- ⇒ 現在の市営駐車場は解体し立体駐車場として品川駐車場跡地に再整備することとなるため、駐車をする場合は立体駐車場へお願いしたい。なお、駅前広場においては、一般車の乗降場所を3箇所設ける予定である。（市）

- 駅前に乗降場所だけではなく、30分程度停車できる場所がほしい。

- ⇒ 駅前広場の計画は警察とも協議しており、現状は危険であり警察としても問題視していることから、改善する必要があるため、今回の計画となっている。（市）

- 一般の人が捨てられるゴミ集積所は出来るのか。

- ⇒ 整備計画上、新たに設置はしないが、今ある集積所については設置をする。（市）

- 道路上ではなくて、公共の土地に建てるのか。

- ⇒ 今後、協議をしていく。（市）

- 建設コンサルタントは1社だけか。

- ⇒ 当該事業に関係する委託は複数あり、業務によって異なる。（市）

- メインコンサルタントがいると聞いた。その会社は2年前に上場廃止になっているのにも関わらず、それを知らない担当者がいるのはおかしい。

- ⇒ 先ほどもお話ししたとおり、当該事業に関係する委託業務は複数あり、メインコンサルタントというものは存在せず、各々に入札を行い、適切な業者選定を行っている。

その事業者が上場廃止になっていたとしても、上場廃止による事業への影響はない。（市）

- 市の職員が以前、冠水する場所がありますかと調査に来てくれて、当該地区は3年に1回は冠水している。ハザードマップ上では、当該地区については、50cm～100cm冠水する地区となっている。現在、関船体育館などが避難所として機能しているが、交流拠点施設は災害避難所

として機能するのか？また、非常用電源設備等を浸水しないよう設計しているのか。

⇒ 交流拠点施設が立地する場所は浸水ハザードマップにて浸水地区に該当するため、交流拠点施設自体を災害避難所にはしない。現状、避難所として湯本第一小学校、関船体育館が該当するため、そちらを今後取り壊す際には避難者の受け入れ先について検討していく。冠水した場合の設計については詳細の設計はこれからであるが、浸水を想定した2階への電源設備の設置や止水板の設置は検討していく。(市)

○ 御幸山の一部については土砂災害特別警戒区域に指定されており、現在、一部法面对策工事がされたエリアと同じように、土砂災害警戒区域に指定された場所が、うお昭さんの裏にあり、過去に周辺住民が署名を集めて「防災措置をきちんとしてほしい」、「御幸山の再整備を見直してほしい」という請願書を出したが、詭弁に近い形で不採択となってしまった。

御幸山の保水性の悪さや防災対策については以前から声をあげているが、ゾーニング図には具体的に防災工事を行うというような記載もない。私は令和5年からずっと言い続けているが、上に遊具等を配置するような記載もある。さらには、舗装工事を新たにやれば、近年の一時的に大量に降る雨によって周辺に水が流れてしまうことが懸念されるが、きちんと防災措置を講じる予定があるかどうかを教えてほしい。

⇒ ゾーニング図では全体的な安全対策を行う中で、法面の安全対策についても行っていくということで説明をさせて頂きました。実際にどこを工事していくというのは詳細な設計を行い、決定していくこととなります。例としてゾーニング図の黄色のメインエントランスの階段部分の整備も検討しておりますので、そちらにあわせて、うお昭さんの裏の部分が関係すれば、法面の対策を検討していきます。その他の箇所についても整備に絡めて、安全対策を講じる予定である。舗装の話もありましたが、整備にあわせて安全対策は必要に応じて対応したい。(市)

○ 私は湯本に在住している訳ではないが、よく湯本に遊びに訪れたり、ワークショップに参加したりしている。P24のイメージスケッチには交流拠点施設と立体駐車場を繋ぐ陸橋が描かれていない。このことは随分前から説明会等で指摘している。

駅前方面に向かうには県道を渡ってこの施設に入る必要があり、いろんな人がいる中で、いわき市の目指すまちづくりの基本理念はユニバーサルデザイン、誰にでも優しいまちづくりとなっているので、天候に左右されない屋根のついた陸橋をつくってください。

どのくらい予算が加算されるか分かりませんが、基本だと思います。駅の近くの駐車場がなくなるわけですから、このくらいはやはり住民の要望を聴いて、予算をつけてください。おそらく、皆さんが希望されていると思います。お金のことは何も資料にかかれていないが、どのくらいの予算がかかるのか。その内いわき市がいくら負担するのか。各事業の予算も細かく教えてほしい。

⇒ 陸橋については予算的に難しいとは思いますが、今後の詳細な設計の中で検討していく。

全体事業費は計画時点で積算しているが、近年の物価上昇や世界情勢、資材の調達状況もあり、現在の時点では不確定である。現時点で積算している金額については、個別で説明をさせて頂きたく。(市)